

5. 高等学校入学試験に対する中学3年生の適応態勢

片岡 仁志 修坂 二夫 小田 武*

高校入試に対する中学3年生の適応態勢の実態を知るために、表1のような質問紙を作製した。

調査地域としては、表2に示すように京都市

と神戸市および両市からほぼ等距離にある盆地の町とその隣村を選んだ。高校入試において、京都市が小学区制をとっているのに対して神戸市は中学区制をとっている。京都市と神戸市を

表1 進学と就職についての調査 (質問紙)

◎ a b cなどのどれかに○をつけてⒶと答えたり、()の中に書きいれたりしてください

- | | |
|--|--|
| <p>1 あなたは()年生</p> <p>2(i)あなたの年齢は満()才
(ii)あなたの性別は：a 男, b 女</p> <p>3(i)あなたは：父が a ある, b ない
母が a ある, b ない
(ii)あなたの兄弟姉妹は合計()人で、あなたは上から()番目(死亡した人は数えない)</p> <p>4 あなたの家庭の職業は()</p> <p>5 あなたは将来どんな職業につきたいと思っていますか</p> <p>a 次の職業につきたいと思っている。その職業名は()</p> <p>b 職業につきたいと思っているが、職業の種類ははっきりしない</p> <p>c 職業につかないと思う</p> <p>d はっきりわからない</p> <p>6 あなたは上級学校に進みますか</p> <p>a 全日制の高等学校に進む その課程(例えば商業課程など)または学校の種類別(例えば農業高等学校など)は()</p> <p>b 定時制の高等学校に進む その課程(例えば商業課程など)または学校の種類別(例えば農業高等学校など)は()</p> <p>c そのほかの学校に進む その学校の種類別(例えば文化学院など)は()</p> <p>d 進まない</p> | <p>e はっきりわからない</p> <p>7 あなたは学校から帰っていつ学習しますか(している時にはどれにも○をつけてください)</p> <p>a 夕食前, b 夕食後, c 深夜 d 早朝</p> <p>e 学校から帰って後は学習しない</p> <p>8 あなたは学校から帰って次のような学習をしていますか(しているものにはどれにも○をつけてください)</p> <p>a 教科書や宿題だけを学習している</p> <p>b 教科書や宿題のほか参考書などを学習している</p> <p>c 学校以外のところであるテストをうける</p> <p>d どこかへならいにいっている その科目名は()</p> <p>e 家庭教師についている その科目名は()</p> <p>f 学校から帰って後は学習しない</p> <p>9 あなたは学校から帰って後学習について相談する人がいますか</p> <p>a ある その人は()</p> <p>b ない</p> <p>10 あなたはこのごろ一日の日課を大体きめていますか</p> <p>a きめていて、大体実行している</p> <p>b きめているが、守れない</p> <p>c きめていない</p> |
|--|--|

* 執筆者

- 11(イ)あなたのこのごろの睡眠時間(昼寝をふくむ)は一日平均約()
- (ロ)あなたのこのごろの学校以外での学習時間は一日平均約()
- (ハ)あなたのこのごろのレクリエーションの時間は一日平均約()
- 12 あなたのこのごろの起床・就寝・食事などの時刻は家族の大部分の人たちと大体同じですか
- a 大体同じである
b 特別なくらし方をしている
- 13 あなたは学習上こまっている科目がありますか
- a ある その科目名は()
b ない
- 14 あなたは学習について友だちと互に助言しあったりはげましあったりしますか
- a ひじょうにする
b 少しする
c あまりしない
- 15 あなたは中学校のクラブ活動に参加していますか
- a 参加している それは一週間約()時間で、そのクラブ名は()
b 参加したが、()年生の()学期にやめた そのクラブ名は()
c はじめから参加していない
d bかcに○をつけた人で、やめたり参加しない理由が家庭での学習時間を多くしたいためであれば、dにも○をつけてください
- 6のところでabcに○をつけた場合には16から21までさらに書きいれてください
- 16 あなたは進学準備のためにレクリエーションの時間を制限していますか
- a 制限していない
b 少し制限している
c ひじょうに制限している
d はっきりわからない
- 17 進学準備があなたの健康に影響していると思いますか
- a あまり影響していないと思う
b 少し影響していると思う
c ひじょうに影響していると思う
d はっきりわからない
- 18 進学準備のためにあなたは何となくいらいらしていませんか
- a いらいらしていない
b 少しいらいらしている
c ひじょうにいらいらしている
d はっきりわからない
- 19 あなたは友だちの進学準備の状態が気になりますか
- a あまり気にならない
b 少し気になる
c ひじょうに気になる
d はっきりわからない
- 20 進学準備のための学習が毎日の生活のはげみになりますか
- a 大いにはげみになる
b 少しはげみになる
c はげみにならない
d はっきりわからない
- 21 進学準備の場合にあなたをはげましてくれた人や本やそのほかのものがありますか
- a ある それは()
b ない
c はっきりわからない

選ぶことによって、入試適応態勢について都市において小学区制の場合と中学区制の場合を比較しようとしたのである。京都市では10校について調査し、進学希望率80%台のもの1校、70%台のもの1校、60%台のもの1校と計3校を比較のために選んだ。神戸市では3分されてい

る学区でそれぞれ1校ずつ計3校を選んだ。町村の場合には進学希望率が比較的高いところを選んだ。

1956年2月下旬に京都市10校、町1校、村1校について調査し、1957年7月上旬に神戸市3校について調査した。調査時期が高校入試直前

入試の研究： 中学 3 年生の適応態勢

表 2 問 6：あなたは上級学校に進みますか

地域	学校	性別	調査生徒数	進学希望者				不進学者および不明	
				全日制高校に進む	定時制高校に進む	その他の高校に進む	計	進まない	はっきり分らない
京都市	A	m	101	81 (80.2)	7 (6.9)	0 (0)	88 (87.1)	11 (10.9)	2 (2.0)
		f	83	64 (77.1)	2 (2.4)	6 (7.2)	72 (86.7)	9 (10.8)	2 (2.5)
	B	m	232	164 (70.7)	16 (6.9)	2 (0.9)	182 (78.4)	39 (16.8)	11 (4.7)
		f	255	163 (63.9)	9 (3.5)	21 (8.3)	193 (75.7)	47 (18.4)	15 (5.9)
	C	m	151	81 (53.6)	15 (10.0)	3 (2.0)	99 (65.6)	33 (21.8)	19 (12.6)
		f	165	85 (51.5)	8 (4.8)	12 (7.3)	105 (63.6)	35 (21.3)	25 (15.1)
	計	m	484	326 (67.4)	38 (7.9)	5 (1.0)	369 (76.2)	83 (17.1)	32 (6.6)
		f	503	312 (62.0)	19 (3.8)	39 (7.8)	370 (73.6)	91 (18.1)	42 (8.3)
神戸市	J	m	161	135 (83.9)	13 (8.1)	0 (0)	148 (91.9)	3 (1.8)	10 (6.2)
		f	115	87 (75.7)	6 (5.3)	5 (4.3)	98 (85.2)	9 (7.8)	8 (6.9)
	K	m	86	65 (75.6)	3 (3.5)	1 (1.2)	69 (80.2)	6 (6.9)	11 (12.8)
		f	78	66 (84.6)	2 (2.6)	3 (3.8)	71 (91.0)	4 (5.1)	3 (3.8)
	L	m	251	178 (70.9)	11 (4.4)	2 (0.8)	191 (76.1)	52 (20.7)	8 (3.2)
		f	240	177 (73.8)	6 (2.5)	7 (2.9)	190 (79.2)	43 (17.9)	7 (2.9)
	計	m	498	378 (75.9)	27 (5.4)	3 (0.6)	403 (81.9)	61 (12.2)	29 (5.8)
		f	433	330 (76.2)	14 (3.2)	15 (3.5)	359 (82.9)	56 (12.9)	18 (4.1)
某町	S	m	176	117 (66.5)	16 (9.1)	0 (0)	133 (75.6)	39 (22.1)	4 (2.3)
		f	166	118 (71.1)	9 (5.4)	5 (3.0)	132 (79.5)	28 (16.9)	6 (3.6)
某村	T	m	48	32 (66.7)	3 (6.2)	0 (0)	35 (72.9)	13 (27.1)	0 (0)
		f	66	30 (45.5)	7 (10.6)	3 (4.5)	40 (60.6)	20 (30.3)	6 (9.1)

の時期と夏休暇直前の時期とに分れているため、比較の場合にその点を考慮しなければならない。

調査生徒数は表 2 に示してあるが、それぞれの学校の 3 年出席者全員である。表 2 に示す進

表 3 問 10：このごろ一日の日課を大体きめて
いますか

地域	学校	性別	調査生徒数	きめていて	きめてい	きめてい
				大体実行している	るが守れない	ない
京都市	A	m	88	29(33.0)	22(25.0)	37(42.0)
		f	72	22(30.6)	16(22.2)	34(47.2)
	B	m	182	44(24.0)	60(33.2)	78(42.8)
		f	193	38(19.7)	82(42.5)	73(37.8)
	C	m	99	29(29.3)	25(25.3)	45(45.4)
		f	105	28(26.7)	32(30.5)	45(42.8)
	計	m	369	102(27.6)	107(29.0)	160(44.4)
		f	370	88(23.8)	130(35.0)	152(41.2)

神戸市	J	m	148	39(26.3)	47(31.8)	62(41.9)
		f	98	27(27.6)	36(36.7)	35(35.7)
	K	m	69	3 (4.3)	19(27.5)	47(68.1)
		f	71	10(14.1)	12(16.9)	49(69.0)
	L	m	191	36(18.8)	45(23.6)	110(57.6)
		f	190	39(20.5)	47(24.7)	104(54.8)
	計	m	408	78(19.1)	111(27.2)	219(55.7)
		f	359	76(21.2)	95(26.5)	188(52.3)
某町	S	m	133	36(27.1)	37(27.8)	60(45.1)
		f	132	36(27.0)	52(39.8)	44(33.2)
某村	T	m	35	8(22.9)	9(25.7)	18(51.4)
		f	40	10(25.0)	14(35.0)	16(40.0)

註 進学希望者のみを集計した

学希望者数および進学希望率は、全日制の高等学校に進む場合と定時制の高等学校に進む場合とその他の学校に進む場合の総計である。

表 3 から表 19 まではすべて進学希望者の回答を

集計したものであって、高校入試（高校以外の学校に進む場合も含む）に対する生徒の適応態勢を示すものである。

表3は、進学希望者の生活の計画性を示している。神戸市の場合の回答は夏休暇直前の生活を示すので、「日課をきめていない」がK校では70%に近く、L校でも50%を超えている。神戸市J校においては入試直前の生活を示す他地域の場合に類似して、生活の緊張を幾分示している。これに反して村T校男子の場合は、入試直前期においても半数が生活の計画性をもっていない。生活の計画性をもたうとしている場合の最高は町S校女子の示す66.8%であり、計画性のある生活を実行している場合の最高は京都市A校男子の示す33.0%である。

表4は、起床・就寝・食事などの時刻に関する家族との同調性を示している。「特別なくらし方をしている」という回答は、町S校が男女共20%を少し超えていて、最高である。それに対して村T校では男女共2人を除いて家族と同調している。一般に、女子の方が起床・就寝・食事などの時刻に関して家族と同調している率が高いことが示されているのである。

表5は、学校から帰っていつ学習するかについて示している。この表では「深夜」と「早朝」のところに特に注目したい。それが学習生活の緊張度を示しているからである。「深夜」については、村T校男子が50%を少し超えて最高で

表4 問12：このごろの起床・就寝・食事などの時刻は家族の大部分の人たちと大体同じですか

地域	学校	性別	調査生徒数	大体同じである	特別なくらし方をしている	
京都市	A	m	88	81 (92.0)	7 (8.0)	
		f	72	67 (93.1)	5 (6.9)	
	B	m	182	166 (91.2)	16 (8.8)	
		f	193	184 (97.0)	9 (3.0)	
	C	m	99	86 (79.7)	13 (20.3)	
		f	105	96 (91.4)	9 (8.6)	
	計	m	369	333 (90.0)	36 (10.0)	
		f	370	347 (93.9)	23 (6.1)	
	神戸市	J	m	148	125 (84.5)	23 (15.5)
			f	98	90 (91.8)	8 (8.2)
K		m	69	58 (84.1)	11 (15.9)	
		f	71	62 (87.3)	9 (12.7)	
L		m	191	168 (88.0)	23 (12.0)	
		f	190	177 (93.2)	13 (6.8)	
計		m	408	351 (86.0)	57 (14.0)	
		f	359	329 (91.6)	30 (8.4)	
某町	S	m	133	103 (77.4)	30 (22.6)	
		f	132	103 (78.0)	29 (22.0)	
某村	T	m	35	33 (94.3)	2 (5.7)	
		f	40	38 (95.0)	2 (5.0)	

註 進学希望者のみを集計した

ある。町S校では男子が26.3%女子が37.9%と男女共比較的高率である。「早朝」については村T校女子が25.0%で最高であり、京都市がA

表5 問7：学校から帰っていつ学習しますか

地域	学校	性別	調査生徒数	夕食前	夕食後	深夜	早朝	学校から帰って後は学習しない
京都市	A	m	88	32 (36.4)	71 (80.7)	18 (20.5)	2 (2.3)	1 (1.1)
		f	72	25 (34.6)	65 (90.3)	7 (9.7)	2 (2.8)	0 (0)
	B	m	182	46 (25.3)	142 (72.5)	25 (13.7)	4 (2.2)	8 (4.4)
		f	193	64 (33.2)	161 (83.4)	31 (16.1)	8 (4.1)	5 (2.6)
	C	m	99	32 (32.3)	80 (80.8)	22 (22.2)	5 (5.1)	5 (5.1)
		f	105	32 (30.4)	88 (80.4)	15 (14.3)	2 (1.9)	2 (1.9)
	計	m	369	110 (29.7)	293 (79.2)	65 (17.6)	11 (3.0)	14 (3.8)
		f	370	121 (32.7)	314 (82.2)	53 (14.3)	12 (3.2)	7 (1.9)

入試の研究：中学3年生の適応態勢

神戸市	J	m	148	62 (41.8)	128 (86.5)	7 (4.7)	17 (11.5)	5 (3.4)
		f	98	40 (40.8)	86 (87.8)	7 (7.1)	8 (8.2)	1 (1.0)
	K	m	69	35 (50.7)	58 (84.1)	8 (11.6)	3 (4.3)	0 (0)
		f	71	23 (32.4)	59 (83.1)	6 (8.5)	3 (4.2)	1 (1.4)
	L	m	191	71 (37.3)	144 (75.8)	16 (8.4)	9 (4.7)	4 (2.1)
		f	190	69 (36.3)	163 (85.8)	24 (12.6)	18 (9.5)	0 (0)
計	m	408	168 (41.2)	330 (80.9)	31 (7.6)	29 (7.1)	9 (2.2)	
	f	359	132 (36.7)	308 (85.6)	37 (10.3)	29 (8.1)	2 (0.6)	
某町	S	m	133	37 (27.8)	73 (54.9)	35 (26.3)	15 (11.3)	5 (3.8)
		f	132	32 (24.3)	110 (83.0)	50 (37.9)	16 (10.6)	1 (0.8)
某村	T	m	35	5 (14.3)	29 (82.9)	19 (54.3)	3 (8.6)	0 (0)
		f	40	9 (22.5)	28 (70.0)	6 (15.0)	10 (25.0)	0 (0)

註 進学希望者のみを集計した

表6 問11(口)：このごろの学校以外での学習時間は一日平均約何時間ですか

地域	学校	性別	調査生徒数	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上 5時間未満	5時間以上
京都市	A	m	88	5 (5.7)%	14 (15.9)%	24 (27.3)%	18 (20.5)%	17 (19.3)%	10 (11.3)%
		f	72	1 (1.4)	7 (9.7)	21 (29.2)	14 (19.4)	12 (16.7)	17 (23.6)
	B	m	182	10 (5.5)	34 (18.7)	50 (27.5)	47 (25.8)	25 (13.7)	16 (8.8)
		f	193	5 (2.6)	26 (13.5)	64 (33.2)	42 (21.8)	20 (10.4)	36 (18.5)
	C	m	99	7 (7.0)	12 (12.1)	23 (23.2)	23 (23.2)	22 (22.2)	12 (12.3)
		f	105	9 (8.6)	15 (14.3)	28 (26.7)	23 (21.8)	13 (12.4)	17 (16.2)
計	m	369	22 (5.9)	60 (16.3)	97 (26.3)	88 (23.8)	64 (17.6)	38 (10.1)	
	f	370	15 (4.1)	48 (13.0)	113 (30.5)	79 (21.4)	45 (12.2)	70 (18.8)	
神戸市	J	m	148	8 (5.4)	33 (22.2)	58 (39.2)	34 (23.0)	8 (5.4)	7 (4.8)
		f	98	1 (1.0)	27 (27.6)	41 (41.8)	22 (22.4)	5 (5.1)	2 (2.0)
	K	m	69	1 (1.5)	21 (30.4)	31 (44.9)	13 (18.9)	3 (4.3)	0 (0)
		f	71	7 (9.9)	25 (35.2)	25 (35.2)	13 (18.3)	1 (1.4)	0 (0)
	L	m	191	21 (10.9)	40 (20.9)	66 (34.6)	39 (20.4)	12 (6.3)	13 (6.9)
		f	190	8 (4.2)	58 (30.5)	66 (31.6)	41 (21.6)	13 (6.8)	10 (5.3)
計	m	408	30 (7.4)	94 (23.1)	155 (38.0)	86 (21.1)	23 (5.6)	20 (4.8)	
	f	359	16 (4.4)	110 (30.6)	126 (35.0)	76 (21.1)	19 (5.3)	12 (3.6)	
某町	S	m	133	6 (4.6)	13 (9.8)	28 (21.2)	29 (21.8)	30 (22.6)	27 (20.0)
		f	132	3 (2.3)	7 (5.3)	29 (21.9)	34 (25.8)	31 (23.5)	26 (21.2)
某村	T	m	35	0 (0)	1 (2.9)	8 (22.9)	12 (34.3)	10 (20.5)	4 (11.4)
		f	40	0 (0)	1 (2.5)	5 (12.5)	22 (55.0)	7 (17.5)	5 (12.5)

註 進学希望者のみを集計した

校B校C校を通じて男女共低率である。

表6は、学校以外での一日の学習時間数を示している。京都市と神戸市の場合には「2時間以上3時間未満」が高率である。「4時間以上5

時間未満」と「5時間以上」については、神戸市の場合は夏休暇直前であるので低率である。町S校と村T校においては「3時間以上4時間未満」が高率であり、村T校女子の55.0%が目

京都大学教育学部紀要 IV

立つ。町S校男子の場合は、「4時間以上5時間未満」の方が「3時間以上4時間未満」より更に1人多い。町S校と村T校に示されている学習時間数は入試直前期ということを考慮してもなお予期以上に多いものである。

表7は、学校から帰って後の学習形態を示している。「教科書や宿題のほかに参考書などを学習している」という回答は、町村両校が両都市の場合に比して非常に高率である。「学校以外のところであるテストを受ける」という回答

は、入試直前期であるという条件と都市であるという条件から京都市3校が高率を示している「どこかへならいにいっている」という回答は、京都市A校が男女共最高率を示しているが、京都市3校合計と神戸市3校合計を比較すると夏休直前である神戸市の方が男女共高率であり、進学準備態勢に幾分の緊張が見られるようである。「家庭教師についている」という回答は、一般に低率である。

表7 問8：学校から帰ってどのような学習をしていますか

地域	学校	性別	調査生徒数	教科書や宿題だけを学習している	教科書や宿題のほかに参考書などを学習している	学校以外のところであるテストを受ける	どこかに習いに行っている	家庭教師についている	学校から帰って後は学習しない
				%	%	%	%	%	%
京都市	A	m	88	28 (31.8)	59 (67.0)	35 (39.8)	25 (28.4)	2 (2.2)	1 (1.1)
		f	72	27 (37.5)	45 (62.5)	20 (27.8)	21 (29.2)	0 (0)	0 (0)
	B	m	182	46 (25.3)	128 (70.3)	57 (31.3)	24 (13.2)	7 (3.8)	8 (4.4)
		f	193	41 (21.2)	147 (76.2)	75 (38.9)	10 (5.1)	5 (2.6)	5 (2.6)
	C	m	99	30 (30.3)	64 (64.6)	12 (12.1)	16 (16.2)	7 (7.1)	5 (5.1)
		f	105	36 (34.3)	67 (63.8)	26 (24.8)	9 (8.6)	5 (4.8)	2 (1.9)
	計	m	369	104 (28.2)	251 (67.9)	108 (29.3)	65 (17.5)	16 (4.3)	14 (3.8)
f		370	104 (28.1)	259 (70.0)	121 (32.7)	40 (10.8)	10 (3.7)	7 (1.9)	
神戸市	J	m	148	49 (33.1)	94 (63.5)	6 (4.1)	36 (24.3)	6 (4.1)	5 (3.4)
		f	98	47 (48.0)	50 (51.0)	2 (2.0)	14 (14.3)	2 (2.0)	1 (1.0)
	K	m	69	40 (58.0)	29 (42.0)	3 (4.3)	12 (17.4)	4 (5.8)	0 (0)
		f	71	39 (54.9)	31 (43.7)	1 (1.4)	11 (15.5)	4 (5.6)	1 (1.4)
	L	m	191	113 (59.2)	74 (38.7)	0 (0)	42 (22.0)	4 (2.1)	4 (2.1)
		f	190	104 (54.7)	86 (45.3)	3 (1.6)	30 (15.8)	4 (2.1)	0 (0)
	計	m	408	202 (49.5)	197 (48.3)	9 (2.2)	90 (22.1)	14 (3.4)	9 (2.2)
f		359	190 (52.9)	167 (46.5)	6 (1.7)	55 (15.3)	10 (2.8)	2 (0.6)	
某町	S	m	133	23 (17.3)	105 (78.9)	1 (0.7)	19 (14.3)	2 (1.4)	5 (3.8)
		f	132	22 (16.7)	109 (82.6)	2 (1.5)	25 (18.9)	9 (6.8)	1 (0.8)
某村	T	m	35	3 (8.6)	32 (91.4)	2 (5.7)	1 (2.7)	0 (0)	0 (0)
		f	40	3 (7.5)	37 (92.5)	1 (2.5)	3 (7.5)	0 (0)	0 (0)

註 進学希望者のみを集計した

表8は、学習上こまっている科目の有無を示している。「ある」という回答が、神戸市K校女子の98.6%（最高）から京都市B校女子の80.3%（最低）まで、極めて高率である。

学習上こまっている科目のある生徒が極めて多数である時に、学校から帰って後学習について

相談する人の有無を示しているのが表9である。「ない」という回答は、村T校男子の80%が最高率であり、町S校男子の59.4%がそれについて高率であり、神戸市K校以外では男子の方が女子より高率を示している。「ない」という場合の最低率は神戸市J校女子の24.5%であ

表8 問13：学習上こまっている科目がありますか

地域	学校	性別	調査 生徒数	あ る	な い	
				%	%	
京 都 市	A	m	88	74 (84.1)	14 (15.9)	
		f	72	62 (86.1)	10 (13.9)	
	B	m	182	164 (90.1)	18 (9.9)	
		f	193	155 (80.3)	38 (19.7)	
	C	m	99	82 (82.7)	17 (17.3)	
		f	105	95 (90.5)	10 (9.5)	
	計	m	369	320 (86.7)	49 (13.3)	
		f	370	312 (84.3)	58 (15.7)	
	神 戸 市	J	m	148	126 (85.1)	22 (14.9)
			f	98	87 (88.8)	11 (11.2)
		K	m	69	66 (95.7)	3 (4.3)
			f	71	70 (98.6)	1 (1.4)
L		m	191	166 (86.9)	25 (13.1)	
		f	190	165 (85.8)	25 (13.2)	
計		m	408	358 (87.7)	50 (12.3)	
		f	359	322 (89.7)	37 (10.3)	
某 町		m	133	121 (90.9)	12 (9.1)	
		f	132	126 (95.5)	6 (4.5)	
某 村	m	35	31 (88.6)	4 (11.4)		
	f	40	36 (90.0)	4 (10.0)		

註 進学希望者のみを集計した

り、神戸市K校男子の26.1%がそれについて低率である。

表10は、学習について友人とどの程度助言しあったりはげましあったりするかを示している。「ひじょうにする」という回答は、村T校

表9 問9：学校から帰って後学習について相談する人がいますか

地域	学校	性別	調査 生徒数	あ る	な い
				%	%
京 都 市	A	m	88	48 (54.5)	40 (45.5)
		f	72	40 (55.6)	32 (44.4)
	B	m	182	77 (42.3)	105 (57.7)
		f	193	120 (62.2)	73 (37.8)
	C	m	99	46 (46.5)	53 (53.5)
		f	105	72 (63.6)	33 (31.4)
	計	m	369	171 (46.3)	198 (53.7)
		f	370	232 (62.7)	138 (37.3)

神 戸 市	J	m	148	73 (49.3)	75 (50.7)
		f	98	74 (75.5)	24 (24.5)
	K	m	69	51 (73.9)	18 (26.1)
		f	71	39 (54.9)	32 (45.1)
	L	m	191	108 (56.5)	83 (43.5)
		f	190	126 (66.3)	64 (33.9)
計	m	408	232 (56.9)	176 (43.1)	
	f	359	239 (66.6)	120 (33.4)	
某 町	m	133	54 (40.6)	79 (59.4)	
	f	132	80 (60.6)	52 (39.4)	
某 村	m	35	7 (20.0)	28 (80.0)	
	f	40	21 (52.5)	19 (47.5)	

註 進学希望者のみを集計

女子の27.5%が最高率であり、同校男子の25.7%がそれについて高率である。「あまりしない」という回答について見ると、村T校女子の10.0

表10 問14：学習について友だちと互に助言しあったりはげましあったりしますか

地域	学校	性別	調査 生徒数	ひじょう にする	少しする	あまりし ない	
				%	%	%	
京 都 市	A	m	88	8 (9.1)	46(52.4)	34(38.5)	
		f	72	11(15.3)	47(65.3)	14(19.4)	
	B	m	182	24(13.2)	94(51.7)	64(35.1)	
		f	193	49(25.4)	114(59.1)	30(15.5)	
	C	m	99	11(11.1)	58(58.6)	30(30.3)	
		f	105	19(18.1)	61(58.1)	25(23.8)	
	計	m	369	43(11.7)	198(53.7)	128(34.6)	
		f	370	79(21.4)	222(60.0)	69(18.6)	
	神 戸 市	J	m	148	15(10.1)	85(57.4)	48(32.5)
			f	98	28(28.5)	51(52.1)	19(19.4)
		K	m	69	10(14.5)	48(69.6)	11(15.9)
			f	71	3 (4.2)	42(59.2)	26(36.6)
L		m	191	25(13.1)	107(56.0)	59(30.9)	
		f	190	34(17.9)	115(60.5)	41(21.6)	
計	m	408	50(12.3)	240(58.8)	118(28.9)		
	f	359	65(18.1)	208(57.9)	86(24.0)		
某 町	m	133	16(12.0)	75(56.4)	42(31.6)		
	f	132	15(11.4)	90(68.2)	27(20.4)		
某 村	m	35	9(25.7)	22(62.9)	4(11.8)		
	f	40	11(27.5)	25(62.5)	4(10.0)		

註 進学希望者のみを集計した

表11 問19：友だちの進学準備の状態が気になりますか

地域	学校	性別	調査生徒数	あまり気にならない	少し気になる	ひじょうに気になる	はっきりわからない
				%	%	%	%
京都市	A	m	88	41 (46.6)	33 (37.5)	9 (10.2)	5 (5.7)
		f	72	21 (29.2)	37 (51.4)	9 (12.5)	5 (6.9)
	B	m	182	74 (40.7)	67 (36.8)	30 (16.5)	11 (6.0)
		f	193	60 (31.1)	82 (42.5)	40 (20.7)	11 (5.7)
	C	m	99	49 (49.5)	36 (36.4)	8 (8.1)	6 (6.0)
		f	105	24 (22.9)	51 (48.6)	20 (19.0)	10 (9.5)
	計	m	369	164 (44.4)	136 (36.9)	47 (12.6)	22 (6.1)
f	370	105 (28.4)	170 (45.9)	69 (18.6)	26 (7.1)		
神戸市	J	m	148	54 (36.4)	70 (47.3)	19 (12.8)	5 (3.5)
		f	98	21 (21.4)	55 (56.2)	21 (21.4)	1 (1.0)
	K	m	69	27 (39.1)	38 (55.1)	1 (1.4)	3 (4.4)
		f	71	17 (23.9)	45 (63.4)	7 (9.9)	2 (2.8)
	L	m	191	77 (40.3)	74 (38.7)	24 (12.6)	16 (8.4)
		f	190	34 (17.9)	95 (50.0)	55 (28.9)	6 (3.2)
	計	m	408	158 (38.7)	182 (44.6)	44 (10.8)	24 (5.9)
f	359	72 (20.1)	195 (54.3)	83 (23.1)	9 (2.5)		
某町	S	m	133	66 (49.6)	42 (31.5)	18 (13.5)	8 (5.4)
		f	132	20 (15.2)	65 (49.2)	40 (30.3)	7 (5.3)
某村	T	m	35	21 (60.0)	8 (22.9)	2 (5.7)	4 (11.4)
		f	40	11 (27.5)	16 (40.0)	9 (22.5)	4 (10.0)

註 進学希望者のみを集計した

%が最低率であり、同校男子の11.4%がそれについて低率である。そこで学習の場合の村T校生徒の友人関係は比較的緊密であるといえよう。「あまりしない」の最高率は京都市A校男子の38.5%であり、それにつぐ高率は神戸市K校女子の36.6%である。「ひじょうにする」の最低率が神戸市K校女子の4.2%であり、それにつぐ低率が京都市A校男子の9.1%である。京都市A校男子と神戸市K校女子の場合は学習についての友人関係が比較的緊密でないことを示している。

表11は、友人の進学準備の状態がどの程度気になるかを示している。ここでは性差が明瞭にあらわれており、各校において女子の方が男子よりも友人の進学準備の状態を気にしている。「ひじょうに気になる」について見ると、男子の最高率が16.5%（京都市B校）であるのに対し

て、女子の最高率は30.3%（町S校）に達している。他方、「あまり気にならない」について見ると、男子の最高率が60.0%（村T校）であるのに対して、女子の最高率は31.1%（京都市B校）にとどまっているのである。

表12は、一日のレクリエーションの時間数を示している。「1時間未満」という回答については村T校女子の15.0%が最高率であり、「1時間以上2時間未満」という回答については同校男子の62.9%が最高率である。「2時間以上3時間未満」という回答については神戸市J校女子の37.8%が最高率であり、「3時間以上4時間未満」という回答については同校男子の29.1%が最高率である。「4時間以上5時間未満」という回答については神戸市K校男子の13.1%が最高率であり、「5時間以上」という回答についても同校男子の20.3%が最高率であ

入試の研究：中学3年生の適応態勢

表12 問11(ハ)：このごろのレクリエーションの時間は一日平均約何時間ですか

地域	学校	性別	調査生徒数	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上 5時間未満	5時間以上
				%	%	%	%	%	%
京都市	A	m	88	6 (6.8)	24 (27.3)	31 (35.2)	14 (15.9)	8 (9.1)	5 (5.7)
		f	72	5 (7.0)	26 (36.1)	23 (31.9)	12 (16.7)	5 (6.9)	1 (1.4)
	B	m	182	22 (12.0)	74 (40.7)	42 (23.1)	27 (14.8)	6 (3.4)	11 (6.0)
		f	193	20 (10.4)	66 (34.2)	53 (27.5)	33 (17.1)	13 (6.7)	8 (4.1)
	C	m	99	6 (6.1)	38 (38.4)	24 (23.6)	18 (10.9)	10 (10.0)	5 (5.1)
		f	105	4 (3.9)	43 (40.9)	28 (24.2)	16 (16.2)	4 (3.3)	10 (9.5)
	計	m	369	34 (9.2)	136 (36.8)	97 (26.1)	59 (16.0)	24 (6.5)	21 (5.4)
		f	370	29 (7.8)	135 (36.5)	104 (28.1)	61 (16.5)	22 (6.0)	19 (5.0)
神戸市	J	m	148	4 (2.7)	25 (16.9)	49 (33.1)	43 (29.1)	14 (9.5)	13 (8.7)
		f	98	4 (4.1)	22 (22.4)	37 (37.8)	20 (20.4)	11 (11.2)	4 (4.1)
	K	m	69	0 (0)	19 (27.5)	10 (14.5)	17 (24.6)	9 (13.1)	14 (20.3)
		f	71	0 (0)	19 (26.8)	20 (28.2)	14 (19.7)	6 (8.5)	12 (16.8)
	L	m	191	9 (4.7)	30 (15.7)	63 (33.0)	51 (26.7)	17 (8.9)	21 (11.0)
		f	190	24 (12.6)	46 (24.2)	53 (27.9)	37 (19.5)	21 (11.1)	9 (4.7)
	計	m	408	13 (3.2)	74 (18.1)	122 (29.9)	111 (27.1)	40 (9.9)	48 (11.8)
		f	359	28 (7.8)	87 (24.2)	110 (30.6)	71 (20.0)	38 (10.6)	25 (6.8)
某町	S	m	133	8 (6.1)	45 (33.8)	33 (24.8)	23 (17.3)	13 (9.8)	11 (8.7)
		f	132	8 (6.1)	52 (39.4)	29 (22.0)	32 (24.0)	5 (3.8)	6 (4.7)
某村	T	m	35	2 (5.7)	22 (62.9)	9 (25.6)	1 (2.9)	0 (0)	1 (2.9)
		f	40	6 (15.0)	17 (42.5)	10 (25.0)	3 (7.5)	0 (0)	4 (10.0)

註 進学希望者のみを集計した

る。神戸市3校の回答は、夏休暇直前の比較的解放された生活を示している。

表13は、「学校のクラブ活動への参加」と「進学準備」の関係を示している。神戸市3校の場合は夏休暇直前であるので、「参加している」と

いう回答はJ校女子の69.4%が最高率である。そのほかの5校の場合は入試直前であるので、「参加している」という回答の最高率は京都市A校女子の56.9%である。「参加したが、家庭での学習時間を増したいためにやめた」という

表13 問15：中学校のクラブ活動に参加していますか

地域	学校	性別	調査生徒数	参加している	参加したが途中でやめた	はじめから参加していない	途中でやめた理由が家庭での学習時間を増したものの	はじめから不参加の理由が家庭での学習時間を増したものの
				%	%	%	%	%
京都市	A	m	88	28 (31.8)	36 (40.9)	8 (9.1)	12 (13.6)	4 (4.6)
		f	72	41 (56.9)	25 (34.7)	2 (2.8)	4 (5.6)	0 (0)
	B	m	182	39 (21.5)	83 (45.6)	33 (18.1)	18 (9.9)	9 (4.9)
		f	193	48 (24.9)	84 (43.5)	30 (15.5)	26 (13.5)	5 (2.6)
	C	m	99	34 (34.4)	39 (39.2)	20 (20.2)	6 (6.2)	0 (0)
		f	105	25 (23.8)	44 (41.9)	19 (18.2)	13 (12.4)	4 (3.7)
	計	m	369	101 (27.4)	158 (42.8)	61 (16.5)	36 (9.7)	13 (3.5)
		f	370	114 (30.8)	153 (41.4)	51 (13.8)	43 (11.6)	9 (2.4)

京都大学教育学部紀要 IV

神戸市	J	m	148	71 (48.0)	59 (39.8)	13 (8.8)	2 (1.4)	3 (2.0)
		f	98	68 (69.4)	27 (27.6)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)
	K	m	69	31 (44.9)	30 (43.5)	4 (5.8)	3 (4.3)	1 (1.5)
		f	71	28 (39.4)	37 (52.1)	4 (5.6)	0 (0)	2 (2.9)
	L	m	191	46 (24.1)	11 (5.7)	134 (70.2)	0 (0)	0 (0)
		f	190	63 (33.2)	84 (44.2)	38 (20.0)	4 (2.1)	1 (0.5)
計	m	408	148 (36.3)	100 (24.5)	151 (37.0)	5 (1.2)	4 (1.0)	
	f	359	159 (44.3)	148 (41.2)	43 (12.0)	5 (1.4)	4 (1.1)	
某町	S	m	133	32 (24.1)	40 (31.1)	48 (36.0)	6 (4.5)	7 (5.3)
		f	132	20 (15.1)	39 (29.4)	62 (46.9)	4 (3.3)	7 (5.3)
某村	T	m	35	0 (0)	35 (100.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		f	40	2 (5.0)	38 (95.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

註 進学希望者のみを集計した

答については、京都市A校男子(入試直前に調査)の13.6%が最高率であり、夏休暇直前に調査した神戸市の場合にはK校男子の4.3%が最高率である。「家庭での学習時間を増したいためには

じめから参加していない」という回答については、町S校女子(入試直前に調査)の5.3%が最高率であり、神戸市の場合(夏休暇直前に調査)はK校女子の2.9%が最高率である。村T校に

表14 問16: 進学準備のために自分のレクリエーションの時間を制限していますか

地域	学校	性別	調査生徒数	制限していない	少し制限している	ひじょうに制限している	はっきりわからない
				%	%	%	%
京都市	A	m	88	33 (37.5)	40 (45.5)	6 (6.8)	9 (10.2)
		f	72	13 (18.1)	41 (56.9)	6 (8.3)	12 (16.7)
	B	m	182	55 (30.2)	93 (51.1)	11 (6.0)	23 (12.6)
		f	193	46 (32.8)	89 (46.1)	17 (8.9)	41 (21.2)
	C	m	99	27 (27.3)	46 (46.5)	4 (4.4)	22 (21.8)
		f	105	23 (21.9)	57 (54.3)	3 (2.9)	22 (20.9)
計	m	369	115 (31.2)	179 (48.5)	21 (5.6)	54 (14.7)	
	f	370	82 (22.2)	187 (50.5)	26 (7.0)	75 (20.3)	
神戸市	J	m	148	38 (25.7)	102 (68.9)	2 (1.4)	6 (4.0)
		f	98	19 (19.4)	69 (70.4)	1 (1.0)	9 (9.2)
	K	m	69	22 (31.9)	27 (39.1)	2 (2.9)	18 (26.1)
		f	71	27 (38.0)	30 (42.3)	1 (1.4)	13 (18.3)
	L	m	191	78 (40.8)	70 (36.6)	6 (3.2)	37 (19.4)
		f	190	67 (35.3)	78 (41.1)	4 (2.1)	41 (21.5)
計	m	408	138 (33.8)	199 (48.8)	10 (2.5)	61 (14.9)	
	f	359	113 (31.5)	177 (49.3)	6 (1.7)	63 (17.5)	
某町	S	m	133	46 (34.6)	63 (47.4)	7 (5.3)	18 (12.7)
		f	132	27 (20.5)	67 (50.8)	9 (6.8)	29 (21.9)
某村	T	m	35	6 (17.1)	18 (51.4)	2 (5.7)	9 (25.8)
		f	40	16 (40.0)	16 (40.0)	2 (5.0)	6 (15.0)

註 進学希望者のみを集計した

入試の研究：中学3年生の適応態勢

においては男女共全員中学校でのクラブ活動の経験をもっており、進学準備の影響がクラブ活動に及んでいない。それに対して、神戸市L校男子の場合に「はじめから参加していない」という回答が70.2%であることは、学校教育におけるクラブ活動の重要性を考える時、進学準備の影響は及んでいないようであるが教育上の一つの問題点であろう。町S校女子においても「はじめから参加していない」の回答は46.9%に達しかなりの高率である。

表14は、「進学準備のためのレクリエーションの時間制限」を示している。「ひじょうに制限している」という回答については、最高率を示すものは京都府B校女子の8.9%である。レクリエーションの時間をひじょうに制限している生徒は、入試直前期においても各校を通じて10%に達していないのである。「制限していない」という回答については、最高率を示すものは神戸市L校男子の40.8%である。これは夏休暇直前の回答である。入試直前の回答に限ってみると、村T校女子の40.0%が最高率であり、これにつづくものは京都市A校男子の37.5%である。

表15は、睡眠時間を示すことによって進学準備の緊張度を見ようとするものである。「7時間未満」という回答については、村T校男子の14.3%が最高率であり、都市に限ってみると京都市C校女子の8.6%が最高率である。各校を通じて睡眠不足の生徒は比較的少数である。共に

表15 問11(イ)：このごろの睡眠時間(昼寝をふくむ)は一日平均約何時間ですか

地域	学校	性別	調査生徒数	7時間未満	7時間以上 8時間未満	8時間以上	
京都市	A	m	88	5 (5.7)	52(59.1)	31(35.2)	
		f	72	4 (5.6)	41(57.0)	27(37.4)	
	B	m	182	8 (4.4)	89(48.9)	85(46.7)	
		f	193	8 (4.1)	101(52.3)	85(43.5)	
	C	m	99	5 (5.0)	50(50.5)	44(44.5)	
		f	105	9 (8.6)	41(39.0)	55(52.4)	
	計	m	369	18 (4.9)	191(51.8)	160(43.1)	
		f	370	21 (5.7)	183(49.3)	167(45.0)	
	神戸市	J	m	148	5 (3.4)	104(70.3)	39(26.3)
			f	98	6 (6.1)	71(72.5)	21(21.4)
K		m	69	0 (0)	51(73.9)	18(26.1)	
		f	71	6 (8.5)	44(61.9)	21(29.6)	
L		m	191	4 (2.1)	152(79.6)	35(18.3)	
		f	190	9 (4.7)	144(75.8)	37(19.5)	
計		m	408	9 (2.2)	307(75.2)	92(22.6)	
		f	359	21 (5.6)	259(72.1)	79(22.3)	
某町	S	m	133	18(13.5)	76(57.1)	39(29.4)	
		f	132	16(12.1)	78(59.1)	38(28.8)	
某村	T	m	35	5 (14.3)	26(74.3)	4(11.4)	
		f	40	4(10.0)	32(80.0)	4(10.0)	

註 進学希望者のみを集計した

入試直前の回答である京都市の場合と町村の場合とを比較して、「7時間未満」という回答が京都市の場合はずべて10%以下であり町村の場合はずべて10%を超えていることが注目される。

表16は、自分の健康に対する進学準備の影響

表16 問17：進学準備が自分の健康に影響していると思いますか

地域	学校	性別	調査生徒数	あまり影響していないと思う	少し影響していると思う	ひじょうに影響していると思う	はっきりわからない
京都市	A	m	88	50 (56.8)	19 (21.6)	7 (8.0)	12 (13.6)
		f	72	33 (45.8)	25 (34.7)	1 (1.4)	13 (18.1)
	B	m	182	91 (50.0)	59 (32.4)	7 (3.8)	25 (13.8)
		f	193	96 (49.7)	60 (31.1)	10 (5.2)	27 (14.0)
	C	m	99	38 (38.4)	31 (31.3)	5 (5.1)	25 (25.2)
		f	105	56 (53.3)	27 (25.7)	7 (6.7)	15 (14.3)
	計	m	369	179 (48.5)	109 (29.5)	19 (5.1)	62 (26.9)
		f	370	195 (50.0)	112 (30.3)	18 (4.9)	55 (14.8)

京都大学教育学部紀要 IV

神戸市	J	m	148	99 (67.0)	33 (22.2)	5 (3.4)	11 (7.4)
		f	98	57 (58.2)	31 (31.6)	3 (3.1)	7 (7.1)
	K	m	69	60 (87.0)	8 (11.6)	0 (0)	1 (1.4)
		f	71	54 (76.1)	13 (18.3)	0 (0)	4 (5.6)
	L	m	191	129 (67.5)	28 (14.7)	4 (2.1)	30 (15.7)
		f	190	121 (63.7)	40 (21.1)	4 (2.1)	25 (13.1)
	計	m	408	288 (70.6)	69 (16.9)	9 (2.2)	42 (10.3)
		f	359	232 (64.6)	84 (23.4)	7 (1.9)	36 (10.0)
某町	S	m	133	84 (63.2)	28 (21.1)	4 (3.0)	18 (12.7)
		f	132	63 (47.7)	44 (33.3)	5 (3.8)	20 (15.2)
某村	T	m	35	20 (57.1)	6 (17.1)	1 (2.9)	8 (22.9)
		f	40	17 (42.5)	16 (40.0)	1 (2.4)	6 (15.1)

註 進学希望者のみを集計した

についての自己判断を示している。「ひじょうに影響していると思う」という回答についてみると、夏休暇直前の回答である神戸市の場合で最高率がJ校男子の3.4%であり、入試直前の

回答の場合は京都市A校男子の8.0%が最高率である。「あまり影響していないと思う」という回答についてみると、入試直前の回答に限った場合は町S校男子の63.2%が最高率であり

表17 問18：進学準備のために何となくいらいらしていないですか

地域	学校	性別	調査生徒数	いらいらしていない %	少しいらいらしている %	ひじょうにいらいらしている %	はっきりわからない %
京都市	A	m	88	29 (33.6)	39 (44.3)	14 (15.9)	6 (6.8)
		f	72	13 (18.1)	50 (69.4)	6 (8.3)	3 (4.2)
	B	m	182	65 (35.7)	76 (41.8)	21 (11.5)	20 (11.0)
		f	193	42 (21.8)	102 (52.9)	38 (19.7)	10 (5.6)
	C	m	99	33 (33.3)	44 (44.4)	8 (8.1)	14 (14.2)
		f	105	16 (15.2)	54 (51.4)	1 (1.0)	34 (32.4)
	計	m	369	127 (34.4)	159 (43.1)	43 (11.7)	40 (10.8)
		f	370	71 (19.2)	206 (55.7)	45 (12.2)	47 (12.9)
神戸市	J	m	148	61 (41.2)	68 (45.9)	8 (5.4)	11 (7.4)
		f	98	10 (10.2)	69 (70.4)	15 (15.3)	4 (4.1)
	K	m	69	30 (43.5)	39 (56.5)	0 (0)	0 (0)
		f	71	29 (40.9)	40 (56.3)	1 (1.4)	1 (1.4)
	L	m	191	57 (29.8)	94 (49.2)	16 (8.4)	24 (12.6)
		f	190	28 (14.7)	112 (58.9)	37 (19.5)	13 (6.9)
	計	m	408	148 (36.3)	201 (49.3)	24 (5.9)	35 (8.5)
		f	359	67 (18.7)	221 (61.6)	53 (14.8)	18 (4.9)
某町	S	m	133	38 (28.6)	72 (54.1)	12 (9.0)	12 (8.3)
		f	132	15 (11.4)	76 (57.6)	36 (27.3)	5 (3.7)
某村	T	m	35	18 (51.4)	11 (31.4)	2 (5.7)	4 (11.5)
		f	40	14 (35.0)	14 (35.0)	8 (20.0)	4 (10.0)

註 進学希望者のみを集計した

夏休暇直前の回答である神戸市の場合を加えるとK校男子の87.0%が最高率である。

表18 問21：進学準備の場合にはげましてくれた人や本やそのほかのものはありますか

地域	学校	性別	調査生徒数	あ	る	%	な	い	%	はつきりわからない	%
京都市	A	m	88	46	(52.3)	31	(35.2)	11	(12.5)		
		f	72	50	(69.4)	11	(15.3)	11	(15.3)		
	B	m	182	101	(55.5)	45	(24.7)	36	(19.8)		
		f	193	136	(70.5)	27	(14.0)	30	(15.5)		
	C	m	99	58	(58.8)	11	(11.1)	30	(30.1)		
		f	105	71	(67.6)	11	(10.6)	23	(21.8)		
計	m	369	205	(55.6)	87	(23.6)	77	(20.8)			
	f	370	257	(69.5)	49	(13.2)	64	(17.3)			
神戸市	J	m	148	104	(70.3)	21	(14.3)	23	(15.5)		
		f	98	72	(73.5)	14	(14.3)	12	(12.2)		
	K	m	69	43	(62.3)	17	(24.6)	9	(13.1)		
		f	71	35	(49.3)	19	(26.8)	17	(23.9)		
	L	m	191	80	(41.9)	58	(30.4)	53	(27.2)		
		f	190	123	(64.7)	34	(17.9)	33	(17.4)		
計	m	408	227	(55.6)	96	(23.5)	85	(20.9)			
f	359	230	(64.0)	67	(18.7)	62	(17.3)				
某町	S	m	133	47	(35.3)	52	(39.1)	34	(25.6)		
		f	132	77	(58.3)	24	(18.2)	31	(23.5)		
某村	T	m	35	23	(65.8)	6	(17.1)	6	(17.1)		
		f	40	28	(70.0)	5	(12.5)	7	(17.5)		

註 進学希望者のみを集計した

表17は、「情緒の安定」と「進学準備」との関係を示している。「ひじょうにいらいらしている」という回答については、町S校女子の27.3%が最高率であり、村T校女子の20.0%がそれにつづいているが、「いらいらしていない」という回答が町S校女子では11.4%であり村T校女子では35.0%であるところから、進学準備による情緒の不安定は町村の女子において高率であると言える。夏休暇直前の回答である神戸市の場合においても、「ひじょうにいらいらしている」という回答がL校女子では19.5%でありJ校女子でも15.3%であり、「いらいらしていない」という回答がL校女子では14.7%であり、J校女子でも10.2%であるところから、学校によってはかなり早い時

期から女生徒が進学準備によって情緒不安定であることを知ることができる。「いらいらしていない」という回答については、入試直前の回答である村T校男子の51.4%が最高率であることが注目される。

表18は、進学準備の場合にはげましてくれた人や本などの有無を示している。「ある」という回答については、神戸市J校女子の73.5%が最高率であり、京都市B校女子の70.5%がそれにつづいている。「ない」という回答については、町S校男子の39.1%が最高率であり京都市A校男子の35.2%がそれにつづいている。

表19は、進学準備のための学習が毎日の生活のはげみになるかどうかを示している。「大いにはげみになる」という回答については、村T校女子の40.0%が最高率であり、京都市B校女子の21.8%がそれにつづいて高率である。それに対して「はげみにならない」という回答についてみると、入試直前の回答に限った場合は京都市C校女子の24.8%が最高率であり京都市B校男子の24.7%がそれにつづいているが、夏休暇直前の回答である神戸市の場合を入れると神戸市K校男子の39.1%が最高率であり同校女子の29.6%がそれにつづいて高率である。神戸市K校の場合は夏休暇直前ではあるが「はげみにならない」という回答が比較的高率であることが注目される。

以上のような調査の結果のうちから比較的明瞭な傾向を示しているものを最後に列挙してみよう。

(1) 高校入試において中学区制である神戸市J校では、進学希望者の生活の計画性に関して夏休暇直前においてすでに、高校入試直前の生活を示す他地域の場合に類似した状態を示していて、生活の緊張が幾分見られる。(表3)

(2) 一般に、女子の方が起床・就寝・食事などの時刻に関して家族と同調している率が高い。(表4)

(3) 町S校と村T校では、生徒の学校以外での学習時間数が入試直前期ということを考慮してもなお予期以上に多い。(表6)

京都大学教育学部紀要 IV

表19 問20：進学準備のための学習が毎日の生活のほげみになりますか

地域	学校	性別	調査 生徒数	大いにはげみになる		少しはげみになる		はげみにならない		はっきりわからない	
					%		%		%		%
京都市	A	m	88	19	(21.6)	29	(33.0)	20	(22.7)	20	(22.7)
		f	72	7	(9.7)	30	(41.7)	10	(13.9)	25	(34.7)
	B	m	182	30	(16.5)	69	(37.4)	45	(24.7)	38	(21.4)
		f	193	42	(21.8)	71	(36.8)	39	(20.2)	41	(21.2)
	C	m	99	19	(19.1)	37	(37.4)	14	(14.1)	29	(29.4)
		f	105	14	(13.3)	37	(35.2)	26	(24.8)	28	(26.7)
	計	m	369	68	(18.4)	135	(36.6)	79	(21.4)	87	(23.6)
		f	370	63	(17.0)	138	(37.3)	75	(20.3)	94	(25.4)
神戸市	J	m	148	17	(11.4)	81	(54.7)	24	(16.3)	26	(17.6)
		f	98	15	(15.3)	60	(61.2)	10	(10.2)	13	(13.3)
	K	m	69	1	(1.4)	32	(46.4)	27	(39.1)	9	(13.1)
		f	71	2	(2.8)	26	(36.6)	21	(29.6)	22	(31.0)
	L	m	191	18	(9.4)	83	(43.5)	43	(22.5)	47	(24.6)
		f	190	11	(5.8)	63	(33.2)	39	(20.5)	77	(40.5)
	計	m	408	36	(8.8)	196	(48.0)	94	(23.0)	82	(20.2)
		f	359	28	(7.8)	149	(41.5)	70	(19.5)	121	(31.2)
某町	S	m	133	29	(21.1)	46	(34.6)	31	(23.3)	28	(21.0)
		f	132	21	(15.9)	61	(46.2)	19	(14.4)	31	(23.5)
某村	T	m	35	2	(5.7)	18	(51.4)	4	(11.4)	11	(31.5)
		f	40	16	(40.0)	15	(37.4)	2	(5.0)	7	(17.5)

註 進学希望者のみを集計した

(4) 学校から帰って教科書・宿題以外に参考書などを学習するのは、町村両校が両都市の場合に比して非常に高率である。学校から帰ってどこかへならいについているのは、夏休暇前の回答である神戸市3校合計が京都市3校合計に比して男女共高率であり、進学準備態勢に幾分の緊張が見られる。なお、家庭教師についている生徒は極めて少数である。(表7)

(5) 学習上こまっている科目があるという回答は、どの学校においても極めて高率である。(表8)

(6) 学校から帰って後学習について相談する人がないという回答は、多くの場合男子の方が女子より高率である。(表9)

(7) 学習の場合の村T校生徒の友人関係は比較的緊密である。(表10)

(8) 各校において女子の方が男子よりも友人の進学準備の状態を気にしている。(表11)

(9) レクリエーションの時間をひじょうに制限している生徒は、入試直前期においても各校を通じて10%に達していない。(表14)

(10) 各校を通じて睡眠不足の生徒は比較的少数であるが、睡眠時間が7時間未満である生徒が京都市の場合は10%以下であり町村の場合は10%を超えている。(表15)

(11) 進学準備が自分の健康にひじょうに影響していると思うという回答については、京都市A校男子の8.0%が最高率である。(表16)

(12) 進学準備による情緒の不安定は町村の女子において高率である。更に、学校によってはかなり早い時期から女生徒が進学準備によって情緒不安定である。(表17)

これらの傾向を総合してみると、高校入試に対する中学3年生の適応態勢に関して或程度の情緒不安定は見られるが極度の緊張はないということができよう。